

令和8年度 佐賀市立諸富北小学校 教育課程

1 学校教育目標

夢をもち ふるさとを大切に思う児童が育つ学校 ～やさしく かしこく たくましく～

2 本年度の重点目標

「多様な人を尊重し共生する子ども」「主体的に学ぶ子ども」「あきらめずにチャレンジする子ども」が育つようにするため、安心して自分らしく過ごせる学校づくりに努める。

3 重点取組内容

(1) 学習指導の充実

○校内研を充実させ「分かる授業づくり」「魅力ある授業づくり」を追求し、学習習慣、基礎学力、思考力、自己学習力、学習意欲の向上を図る。
○一人一台端末を効果的に活用することにより、学習意欲や表現力の向上を図る。
○語感を磨き、語彙を豊かにするために読書を奨励する。
○リーディングスキルトレーニングにより、主体的な学びを行う素地となる読解力の向上を図る。
○学習習慣を確立させるため、「家庭学習の手引き」を配布し、家庭と連携して取り組む。
○毎月「ノーテレビ・ゲーム・スマホデー」を設定し、自主的、計画的に取り組む力の育成を図る。

(2) 生徒指導の充実

○「学校マルトリートメント」を排し、すべての子どもが安心して学校生活を送ることができる環境をつくる。
○年間を通してがんばること「も・ろ・き・た」をもとに、ほめること、認めることを繰り返して、望ましい行動を増やす。
○いじめや問題行動について、未然防止、早期発見、早期対応、再発防止に努める。スクールカウンセラー、スクールソーシャルワーカー等と連携しながら組織的な支援を行う。
○生徒指導協議会を通して、全職員が実態把握に努めるとともに、状況に応じて対応を協議し、指導の徹底、支援の共通化を図る。
○防災計画、危機管理マニュアルに基づき、児童避難訓練を実施し、自分の命は自分で守る意識の高揚や実践的行動力を育てる。

(3) 特別支援教育の充実

○特別支援教育コーディネーターを中心として、横の連携を図りながら、効果的な特別支援学級の運営を行う。将来の社会的自立に向けて、児童の実態に応じた指導内容や指導方法を工夫する。
○子どもの個性や特性を多面的に把握し、適正な支援や指導方法を検討するための支援会議や組織作りを行う。それを受けて、定期的な支援の見直し、関係機関との連携、適正な人員を配置を行う。
○学級活動、道徳、人権教室などを活用し、全校児童に対して、発達段階に応じた特別支援学級についての理解啓発を行う。取組は学校だより等で保護者、地域にも発信する。
○特別支援教育に係る職員研修の充実を図り、教職員の資質向上に努め、多様な困り感をもつ児童の理解や支援・指導に生かす。

(4) 人権・同和教育の充実

○校内研修の実施や各種研修会への全職員の参加を促し、職員の人権・同和教育への認識を高める。
○人権尊重の視点に立った学習活動や人権教室、平和集会、人権週間の取組を充実させる。
○多様な人権課題について、発達段階に応じて学習し、差別を許さない態度と実践的な行動力の育成を目指す。
○年間2回のQ-Uテストを実施し、児童の実態の把握に努め、学級づくりに生かす。
○ハートタイムの中で「ほかほかカード」の取組を行うことで、友達のよさに目を向け、温かい人間関係を築くことができるようにする。

(5) コミュニティスクールの機能充実

○学校運営協議会の学校運営への積極的な参画により学校課題の解決を図る。
○地域学校協働活動本部と連携した地域人材の積極的な活用を行い、教育活動の充実を図る。
○地域行事への参加を奨励し、地域と連携した市民性を育む教育を推進する。

令和8年度 諸富中学校区教育連携ビジョン

